

1. 事業の概要

わが国において野生絶滅したトキ並びに絶滅のおそれが極めて高いツシマヤマネコ及びヤンバルクイナの飼育下個体を本来の生息地に野生復帰させ、野生個体群を回復させることで種の絶滅を回避する。野生復帰にあたっては、事前に十分な野生順化訓練を実施するとともに、地元の理解や協力を得ながら、生息地環境の整備や保全にも努める。また、野生復帰後は、個体の追跡等によるモニタリングを実施し、必要に応じてフォローアップの策を講ずる。

2. 事業計画

| トキ野生順化特別事業 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 |
|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 野生復帰プログラムの策定 | → | | | | | |
| 周辺環境整備 | → | → | → | → | | |
| 野生順化訓練の実施 | → | → | → | → | → | → |
| モニタリング体制の確立 | → | | | | | |
| 野生復帰及びモニタリング | | → | → | → | → | → |
| 地域住民のコンセンサス作り | → | → | → | → | → | → |

| ツシマヤマネコ野生順化特別事業 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 |
|-------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 野生復帰プログラム策定(復帰計画) | → | → | → | → | | |
| 野生順化訓練実施 | | | | | | → |
| 地域住民のコンセンサス作り | → | → | → | → | → | → |

(増額)

| ヤンバルクイナ野生順化特別事業 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | H24 |
|-------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 野生復帰プログラム策定(基本計画) | | | → | → | | |
| ”(復帰計画) | | | | | → | → |
| 飼育技術の検討 | | | | → | → | |
| モニタリング体制の検討及び確立 | | | | | → | → |
| 地域住民のコンセンサス作り | | | → | → | → | → |

3. 施策の効果

トキ、ツシマヤマネコ及びヤンバルクイナの野生順化訓練と野生復帰及び野生復帰後のモニタリングを実施し、地域住民等地域社会の協力を得ながら総合的に当該種の野生復帰を適切かつ確実に進め、種の絶滅を回避する。

ヤンバルクイナについては、平成21年度に飼育下繁殖施設を整備し、平成22年度から本格的に、飼育下繁殖による種の保存を図るとともに野生復帰の手法を検討する。

絶滅のおそれのある種の生息域外保全 (飼育下繁殖→野生復帰)に関する取組

ハード

ソフト

希少野生動物野生順化特別事業の流れ

野生復帰計画(プログラム)の策定

〔飼育下繁殖技術の検討、順化訓練、
放鳥・放獣、その後の監視方法など〕

順化施設の設計

順化施設の整備

順化訓練の実施

(飛行・採餌・繁殖・社会性など)

野生復帰の実施

(放鳥・放獣など)

野生復帰個体の監視

(モニタリング)

<目標>

種の絶滅の回避
野生個体群の回復

周辺環境整備
に対する支援

(ボランティア・NPO活動の支援)

地域住民の
コンセンサスづくり

(普及啓発活動・パンフレットなど)

飼育下繁殖施設の整備

飼育下繁殖施設の設計

繁殖ケージ
(6棟)

順化ケージ

順化フィールド

管理棟

ヤバルクイ : H22 ~

トキ : H20 ~

ツマヤマネコ : H25 ~

